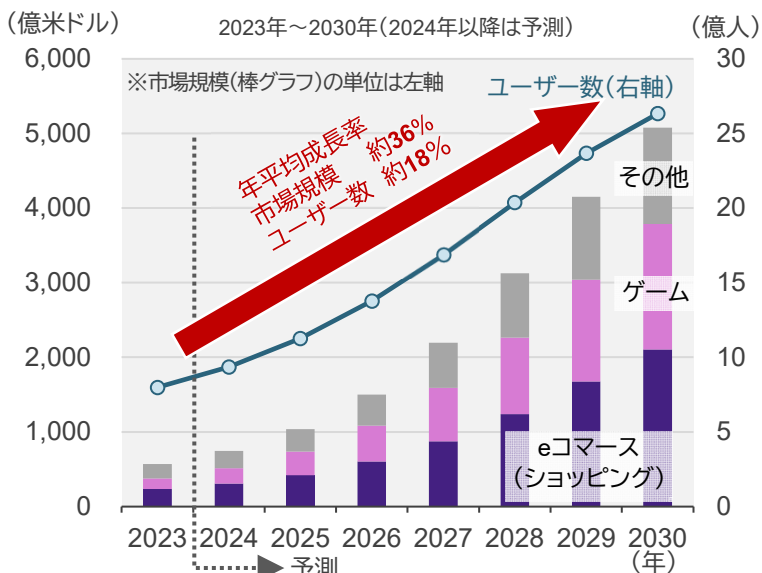


- メタバース(Metaverse)とは、「メタ(meta、超越)」と「ユニバース(universe、宇宙)」を組み合わせた造語で、デジタル上に構築された仮想世界のことです。
- 利用者は、仮想世界に自分の分身であるデジタルキャラクター「アバター」で参加し、空間内を自由に移動したり、誰かと会話をしたりすることができます。
- メタバースでは、アバターの存在によって、文字や言葉、動作といった非言語情報を付加することで、高い没入感と充実したコミュニケーションを取ることができます。

メタバースの市場規模とユーザー数の推移

- メタバースでは、複合現実(MR)や拡張現実(AR)、仮想現実(VR)などの技術を使い、ショッピング、ゲームやエンターテインメントへの参加、仮想不動産の売買など、現実世界と同様の経済活動が行われています。
- ビジネスの現場では、デジタルツイン(現実世界を仮想世界に再現)やNFT(非代替性トークン)といった技術が併用されていることから、仮想世界特有の価値提供や業務効率化などへの活用が期待されています。

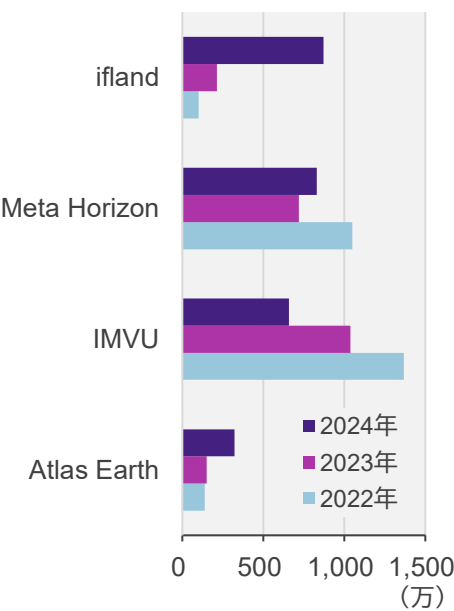


出所: Statista
※上記は推計および予測であり、将来を約束するものではありません。

世界の主要メタバース関連アプリ

- 人々が集い、対話型ツールを活用できる社会主導型の環境などが整備されたメタバースプラットフォームの開発に、さまざまな企業が注力しています。

■ 主要メタバース関連アプリの年間ダウンロード数の推移(上位4本)



出所: AppMagic
※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

ifland(SKテレコム(韓国)が運営)

- VRゴーグルなどが不要で、スマートフォンからアクセスできるソーシャルアプリです。定期的にK-POPスターを招待したイベントを実施していることもあり、人気を集めました。
- 2025年3月、SKテレコムはアプリで蓄積したノウハウを活かしたAI事業への戦略転換を図るとして、サービスを終了しました。

Meta Horizon(Meta(米国)が運営)

- メタバース・エコシステム全体を指す名称で、ソーシャルVRプラットフォームのHorizon WorldsやVRゴーグルの販売などが含まれます。プラットフォームでは、ゲームやイベントのほか、仮想製品の販売やサービスの提供などを行っています。
- アプリ内での取引額の一部やアイテムの販売、企業の事業運営支援、広告収入などが主な収益源です。

IMVU(Together Labs(米国)が運営)

- 世界最大級のWeb3ソーシャルプラットフォームです。18-34歳のユーザーが全体の6割程度を占め、月間アクティブユーザー数は700万人を超えます。
- 5万人のクリエイターが衣服やアクセサリ、家具など5,000万点のアイテムを提供し、ユーザーは友人と共有体験ができます。

Atlas Earth(Atlas Reality(米国)が運営)

- 世界最大級のバーチャル不動産アプリで、登録ユーザー数は米国国内だけで100万人近くに達するとされています。
- 実世界の位置情報を反映したバーチャルランドを購入できる位置情報ベースのアプリで、土地を取得し、レンタル収入を得ることができます。収入は、PayPalなどで換金することも可能です。

※公開情報など信頼できると判断した情報をもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成。情報の正確性・完全性について当社が保証するものではありません。

ページ記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。